

第2章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

芦別市における食育は、家庭を中心に、保育所、幼稚園、学校、地域、生産者、事業者、行政などが共通の理解のもと、共通の目標を掲げ、その達成を目指して協力して取り組んでいきます。

食べることをとおし 生きる力を身につけ 健やかな心とからだを育む

食は命の源であり、望ましい食習慣を身につけることが大切です。

市民一人ひとりが、食に関心を持ち、食を楽しみ、健全な食生活を実践する基本的な力を身につけ、健康な心と体、豊かな人間性を育み、生涯を通じて生き生きと暮らせることを目指すため、基本理念を掲げます。

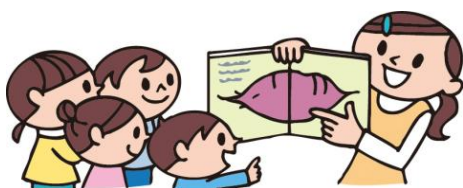
2 重点目標について

芦別市における食の現状と課題から、市民全体で食育を推進し展開していくために、共通の目標をもち、取り組んでいくことが必要です。食育の各取り組みをスムーズに進めていけるよう、次のように3つの重点目標を設定します。

(1) 健康で豊かな食生活の実践

～食や健康に関する正しい知識を知り、健康で豊かな食生活を身につける～

市民の一人ひとりが生涯にわたって健康で豊かな生活を実現するために、食に関する正しい知識と望ましい食を選択する能力や食習慣を身につけ、年齢や健康状態に応じたバランスのとれた食生活により、健康の保持増進と心豊かな人間性を育むように取り組みます。



(2) みんなでつながる楽しい食育

～食育に関心を持ち、家族や地域がつながりを深め食育を実践する～

市民一人ひとりが食育の大切さや必要性を理解し、家庭や地域、生産者や行政がそれぞれの役割を持ち相互に連携を図りながら、食育の活動を継続的に行い実践することが重要です。あらゆる機会を通して実践的な食に関する理解を深めるとともに、食に関する地域づくりを進めていきます。



(3) 伝えあおう芦別の味

～地場産品や郷土の味を地域や家庭で伝える～

芦別市の豊かな自然のなかで育まれた特色ある食材や食文化の継承を進めるとともに、米、野菜、果物や酪農の農産地域であることを踏まえ、生産者と消費者の交流を図り地産地消に取り組み、食物を育て収穫して食べることによって自然の恵みに感謝する心を養い、食文化の継承を進めていきます。

